

行政視察報告書

委員会名	公共交通対策特別委員会
参加委員	柳沢浩之、吉岡完司、松本次男、金井登美雄、巽久男、原田大
日 程	2024年10月9日から10日
視 察 先	新潟県加茂市、新潟県三条市
視察内容【1日目】	
視察自治体	新潟県加茂市
視察項目	かもんタクシーについて
概 要	<p>本市は、少子高齢化が進み、高齢化率は36%を超えています。高齢者や障がい者・運転免許返納者を初めとした交通弱者は、移動支援が必要であります。市民からも公共交通の路線拡充や利便性の向上を求める声が多く寄せられています。市民の声にこたえるために、本市議会では、令和5年9月に「市民生活の利便性等を高めるための公共交通機関の諸課題について調査を行う」ため、特別委員会を設置しました。そこで、先進的な乗合タクシー「かもんタクシー」を運行している新潟県加茂市を視察しました。</p>
説明内容	<p>公共交通の見直しと現状について 乗合タクシー「かもんタクシー」について</p> <p>【運行エリア】市内全域 【運行時間】8時から18時までの1時間間隔 【運行形態】1時間前までに予約をすれば、市内どこでも、好きなところで乗降でき、ルートは決まっておらず、複数乗客の相乗りにより、乗降時刻が変化する。 【運賃】現金、回数券が利用でき、乗降するエリアによって、運賃が異なります。 小学生及び身体・知的・精神障害のある方、介助者は半額、小学生未満は無料。 【運行車両】通常のタクシー車両で運行。最大4人の利用可能。 【運行事業者】3社（中越交通、加茂タクシー、葵タクシー）</p> <p>【公共交通の見直しの経緯】 市民バスの課題</p> <ol style="list-style-type: none">① 利用者がいない空っぽのバスが発生している非効率的な運行② バス停が遠く移動が不便な地域がある③ 運行経費の増加 <p>新しい運行の基本方針 バスの利用が比較的多い地域や通勤通学の多い朝の時間帯に「市民バス（かもんバス）」の運行を集中させ、人口が広く点在する地域では、予約制の「のりあいタクシー（かもんタクシー）」で効率的に運行し、運行経費を抑える 「かもんバス」は2路線と早朝バスでもっと使いやすく、分かりやすい運行へ見直す 自宅付近など市内どこでも乗り降りできる「かもんタクシー」を運行し、すべての市民の移動手段を確保する</p>

【予約方法】

1時間前までに「かもんタクシー予約センター」へ電話またはインターネットで予約。

*予約は、2週間前から1時間前までに。

【「かもんタクシー」運行実績】

かもんタクシー利用人数(令和3年10月から令和5年3月末)合計35,155人が利用
運行開始の令和3年10月から年度末までは5,171人でしたが、令和4年度は
14,785人、令和5年度は15,199人と増加傾向になりました。2年目からは7%利用
者が増加し、かもんタクシーの運行による交通体系の見直しが市民に定着したと思いま
す。医療機関、スーパー、駅、入浴施設の利用が多いです。

【「かもんタクシー」見直し後の課題等】

運行エリア外を運行する場合のアクセス。

効率的な運行を目指すためにAI交通の導入。

乗車する1時間前までの予約を30分までに変更。



主な質疑応答

1. 導入までの経緯について

問:加茂市における公共交通の課題について。

答:①利用者がいない空っぽのバスが発生している非効率な運行
②バス停が遠く移動が不便な地域がある
③運行経費の増加

問:実証実験の結果について。

答:令和3年から令和4年に実証実験を行なった。利用者は増加し、かもんタクシーを運
行してほしいとの意見があった。

問:通常のタクシー車両を採用した理由について。

答:最初はジャンボタクシーを検討したが車両がないため通常のタクシーにした

2. 事業の概要について

問:費用の概算について。

答:予約などのシステム費951万円7,000円、委託費2,560万円、
合計3,511万7,000円

問:利用者の動向について(乗車率・乗車目的・年齢など)

	<p>答:乗車率 1.7 人、目的、買い物63%、通院59%、娯楽13%、高齢者・障がい者の利用が7割</p> <p>問:利用者からの意見要望について</p> <p>答:運行する時間帯が決まっているので利用する時刻の指定ができない</p> <p>問:市外区域へのアクセスについて。</p> <p>答:市外はかもんタクシーでなく民間の料金に切り換えることが可能か、今後タクシー会社と協議が必要</p> <p>アクセスについては今後の課題である</p> <p>3. 今後の計画について</p> <p>問:加茂市地域公共交通計画におけるかもんタクシーの役割について</p> <p>答:AI デマンド交通の導入、集約混載、乗り方講義、施設での乗り場をわかりやすく明示していく</p>
--	---

視察内容【2日目】	
視察自治体	新潟県三条市
視察項目	デマンド交通ひめさゆり のるーとさんじょうについて
概要	<p>本市は、少子高齢化が進み、高齢化率は36%を超えています。高齢者や障がい者・運転免許返納者を初めとした交通弱者は、移動支援が必要であります。市民からも公共交通の路線拡充や利便性の向上を求める声が多く寄せられています。市民の声に応えるために、本市議会では、令和5年9月に「市民生活の利便性等を高めるための公共交通機関の諸課題について調査を行う」ため、特別委員会を設置しました。そこで、先進的な「デマンド交通ひめさゆり のるーとさんじょう」を運行している新潟県三条市を視察しました。終了後、燕三条地場産センターまで AI デマンド交通を体験乗車しました。</p>
説明内容	<p>地域公共交通の見直しについて</p> <p>デマンド交通への AI オンデマンド交通システム導入を中心に</p> <p>【運行エリア】既存の市街地エリア</p> <p>【運行時間】8時から18時</p> <p>【運行車両】4台(8人乗りワンボックスカー・6人乗りミニバン)</p> <p>【予約方法】電話予約、アプリ・LINE予約</p> <p>＊乗車日の5日前から予約受付可能</p> <p>【運賃】電話予約一律500円、アプリ予約400円、小学生以下半額、</p> <p>【運行事業者】4社(エスタクシー、三条タクシー、中越交通、日の丸観光タクシー)</p> <p>【AI デマンド交通運行の概要】</p> <p>AI デマンド交通とは、時刻表や決まったルートがなく、予約状況に応じて最適な運行ルートを走る新しい乗合いサービス。</p> <p>令和5年10月1日から運行開始</p> <p>【運行状況(令和5年10月～令和6年8月)】</p> <p>利用者数:平日 20,325 人(90.3 人/日)、土曜 2,350 人(50.0 人/日)</p> <p>日曜祝日 1,768 人(29.0 人/日)、合計 24,443 人(73.4 人/日)</p>

*駅やスーパー、通院での利用が多く見られる。また、公共施設や子どもの習い事の利用も増えてきている。

予約方法内訳(令和6年8月):電話、合計972件(43.8%)

アプリ、合計893件(40.2%)

LINE、合計354件(16.0%)

*高齢者は電話予約が多く、10~60代はアプリ予約が多い。

*アプリ及びLINE予約の割合が高くなってきた理由は、利用者説明会等でアプリ及びLINEの使い方を説明したことやアプリ及びLINE予約による100円引きと考える。



実際に乗車し、調査を行った(のるーとさんじょう)

主な質疑応答

1. 三条市における公共交通の課題について

答:・自動車保有率が高いため、公共交通利用者が交通弱者に限られる。

・路線バスや循環バスの便数が少ない。

・夜間のタクシー稼働台数が少ない。

・行政負担額が増加している。

2. 事業の概要について

(1)「のるーと」と「ひめさゆり」の2種類のデマンドを運行している理由とそれぞれの特徴について

答:・市街地エリア内「のるーとさんじょう」

AIシステムを導入した乗合い型オンデマンド交通、専用アプリやLINEから予約可能、一律運賃、システムによる自動配車

・北・南・下田エリア「ひめさゆり」

タクシー車両を使用したオンデマンド交通、目的停留所まで直接運行、単独乗車と複数乗車で運賃体系が異なる、各タクシー事業者による手動配車

・デマンド交通はH23年から全域で運行を開始したが、近年コロナ禍によるドライバー不足や事業負担額の増加等で課題があったため、効率的な運行を目的としたAIオンデマンド交通システムの導入を検討し、将来的に全域展開を目標に利用者数の5割を占める市街地エリア内へ導入し、実証運行を開始した。そのため、エリア

	<p>によって2種類のデマンド交通が運行している状況である。</p> <p>(2) 費用概算(令和5年度)について</p> <p>答:・ひめさゆり 4,297万2000円</p> <p>・のーとさんじょう 4,310万9000円(イニシャル費用、ランニング費用)</p> <p>(3) 利用者の動向について(乗車率・乗車目的・年齢など)</p> <p>答:・予約型運行のため乗車率は図れないが、平日平均100人、土曜60人、日曜祝日30人の利用がある。</p> <p>・平日は通院や通学、サークル活動、子どもの送迎がメイン、休日は鉄道利用やイベント開催場所への移動がメイン。</p> <p>・全体的に高齢者がメインだが、通勤では30~50代、子どもの利用も見受けられる。</p> <p>(4) 利用者からの意見要望について</p> <p>答:・一律運賃のため、比較的安価な金額で移動できる。</p> <p>・子どもの送迎など様々な目的で利用できる。</p> <p>・乗合型のため予約時に掲示された時間通りに到着しないことがある(最大20分前後)</p> <p>・コールセンターが繋がりにくい。</p> <p>・エリアによって運行形態が異なるため、制度理解が難しい。</p> <p>3. 今後の計画について</p> <p>(1) 三条市地域公共交通計画におけるデマンド交通の役割等について</p> <p>答:・デマンド交通を軸に捉えつつ、循環バス、コミュニティバス等の他の交通機関と適切に役割分担された交通体系を構築。</p> <p>・デマンド交通の更なる充実を図り、新たな移動需要への対応を通じて、将来にわたってこのまちを移動する誰もが使いやすく、さらに人を動かし、まちを活性化させる持続的な公共交通体系を目指していく。</p>
<p>市への提言 または要望</p>	<p>市内でどこからでも乗降できるデマンドタクシーは利用しやすく、効率的な運行が可能であり、積極的な推進をお願いします。</p> <p>AIを活用した交通は利便性が高く、導入すべきであると考えます。</p> <p>本市の地域的な特性を考えた運賃体系の構築をお願いいたします。</p>